

教育

部活動の地域移行は

社会教育で支える

問

先生の負担を減らすため「来年度から休日の部活動については、先生の指導から地域の指導者へと移行するよう」との通達が文部科学省よりあっています。

須恵町では、スポーツ協会の活動が盛んで、早くから外部指導者による部活動の指導が行われていますが、部活動

の地域移行は進んでいますか。部活動の地域移行の現状、課題、今後の計画についてお尋ねします。

答 猪股教育長

部活動を地域移行する際の基本方針として、1. 生徒に対して多様な選択肢を提供する部活動に移行する。2. 部活動を地域とともに生徒を育てる場として位置づける。3.

を実施し、丁寧^{ていねい}に意見を拾い上げ、理解を得て進めていきたいと考えます。

現在、部活動の地域移行は、協議会の設置や学校との意見交換などにとどまっています。今後は、地域移行に関して、受け皿として上げられる関係団体の理解と指導人員の確保、指導者と学校との連携や指導者の勤務時間や報酬などの管理が課題となると考えます。

答 平松町長

昭和50年代に入ってから、社会教育を基盤^{きばん}に捉^{とら}えたまちづくりをやるうとした先進的な町です。この部活動の地域移行の課題については、須恵町には素地^{そで}があります。しっかりとした学校教育を支える社会教育の在り方を見据^{みよ}えながら、すばらしい組織にしていきたいと思ひます。



藤野 正剛 議員

持続可能な地域部活動の運営体制を構築する。以上の3つを上げています。部活動の地域移行に関する検討委員会設置要綱を制定し、検討委員会の中で関係の児童生徒や保護者に広くアンケート調査



活動が盛んなスポーツ協会

答弁中の平松町長

町政を問う！

一般質問

教育

翼をください2

時期が来れば修学旅行で

問

かつて町制施行50周年記念事業として「須恵町少年の翼」が行われました。町政のメモリアル事業を教育で飾るといふことに、教育立町を掲げる須恵町の精神を感じます。当時作成された一冊の報告書がありますが、今読んでも熱い思いが伝わってきます。それから17年の歳月が流れました。難しい課題も多いと思いますが、再び、須恵町の子どもたちに翼を与える壮挙を願います。

町長と教育長のお考えを伺います。

答 猪股教育長

翼事業を行うことは、教育的にも人材育成の面でも、異国の文化や生の外国に触れることができ、大変有意義なことだと思ひます。ただ、この事業で恩恵^{おんゑ}を享受できるのは、ごく少数の対象者のみとなり、教育的効果は限定的であると考えています。

答 平松町長

翼事業が終わった後の教育長時代、限られた生徒だけに機会を与えるというのには、違うのではないかと思っています。ただ、当時の教育委員会に英語圏で、との思いがあったのではと思ひます。須恵中学校、東中学校の生徒合計400人を英語圏に連れていくことは、財政的に難

歴史

「須恵町誌」の続編は

今ある町誌をデジタル化

問

「須恵町誌」が昭和58年に編纂されて39年が経過します。久々に開いてみたところ、1200ページ超の厚みと良質の記事に、当時の須恵町の、過去と現在をすべて詰め込んだかのような熱を感じました。ぜひともデジタル化しての公開を望みます。

また、伺うところによると、今日までに新たな知見も相当に積み重なっているとのこと。行政や社会の変化も盛り込み、続編・改訂版などを編纂して、新たな須恵町を残していただきたい。

答 諸石総務課長

町長のお考えを伺います。町の貴重な資料ですので、デジタル社会に向けて電子データ

来れば修学旅行として実施できるのではないかと夢を描いていきます。

答 平松町長

今ある町誌を第1編として残り、いつか第2編をつくらざるを得ない環境が出てきたときにやりたいと思ひます。何年先か分かりませんが、須恵町のすばらしい歴史を後世に伝えていくべきだろうと思ひます。



田ノ上 真 議員